

魁会

Vol. 04 第4号

〒755-0805 山口県宇部市文京台二丁目1-1
TEL (0836) 38-0500 FAX (0836) 38-0600
URL <http://www.frontier-u.jp>

SAKIGAKE Alumni Association 2010.3

発行 魁会 編集 魁会 広報室

Sports Topics

全国障害者スポーツ大会 「トキめき新潟大会」に出場!!

阿武 妙香 平成18年度 卒業

昨年の10月10日～12日に行われた全国障害者スポーツ大会・トキめき新潟大会に山口県選手の一員として、水泳競技(クロール25m・平泳ぎ50m)に出場しました。私は今まで「競技としてのスポーツは健康な人がするもの」という思いがありました。しかし今回の経験で、体の不自由な人にも健康な人と同じように活躍出来る場がある、自分が頑張ればその場に行ける、周囲の人にも認めて貰えるという事をこの大会を通して知りました。これからは今回の経験を生かし、来年山口県で行われる「おいでませ・山口大会」に向けて練習を積み重ねていきます。



水泳競技

同窓生の
益々のご活躍を
期待しています。

トキめき新潟大会

平成21年
クラブ名簿

宇部フロンティア大学では、多くの学生がクラブやサークルに所属し、それぞれの活動を通してキャンパス生活を充実させています。本学も開学後7年が経過し、その中で学生の皆さんの有志が集い、学生たちの発案によって様々なクラブが誕生しています。運動部、文化部、同好会と活動内容はクラブによって様々ですが、クラブ活動を通して学生同士の交流を深め、日々の生活を有意義に過ごすための欠かせないものとなっています。

<運動部>

軟式野球
サッカー
軟式テニス
陸上部
バドミントン
バスケット
バレーボール
女子バスケット
From Try Angel (ダンス)

<文化部>

茶道
軽音部
SLC(手話)
宇部フロンティアBBS会
F.a.g (アカペラ)
ごまわり (演劇)
吹奏楽
メディア
f-clovers (ボランティア)
デザイン・アート
green×green (環境ボランティア)

<同好会>

つども環境ボランティア
中国研究
料理研究会
福祉環境ボランティア
軟式テニス

<New> サブカルチャー

魁会新役員紹介

この度、大学・大学院4期生の中から、新たに5人が魁会役員に加わることになりました。よろしくお願ひいたします。役員は随時、募集中ですので同窓会活動の企画運営をしてみたいと思われる方は、ご連絡ください。

《連絡先》魁会事務局
TEL:0836-38-0513
E-mail:sakigakekai@frontier-u.jp

4期生 新役員
今城 一敏、小受 磨弥、山本 陽子
河村 奈美、福田 由香

編集後記

梅の花が咲き、桜の蕾が膨らみ始める今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？我々が宇部フロンティア大学を卒業してからはや幾月も経ち、多くの方が忙しい日々を送られていることと思います。そんな日々の中で、この会報誌が大学生時代の記憶を思い出すきっかけになれば幸いです。

今年度は我々魁会の総会は無事終了し、魁祭で毎年恒例となっているバザー・野菜市も大盛況となりました。これもひとえに、先輩やOB・OGの方々、関わってくださった皆様のご尽力の賜物であると感じております。今後も魁会の更なる発展のために努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。最後に、この度の会報誌作成にあたり、ご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。(4期卒業 魁会役員一同)



ご挨拶

宇部フロンティア大学

学長 山田 通夫



学の学生たちは明るく、元気があふれていると誉めて貰っています。はじめのうちは、お世辞でいわれているのだらうと思っておりましたが、私自身が他の大学のキャンパスに行ってみると、やっぱり、本学の学生は素晴らしいと思います。本当に宇部フロンティア大学の学生は明るく元気です。これこそ本学の特徴の一つだと思います。魁会の皆さん方の賛同と応援を頂ければと思っています。

次に、どの大学も7年に1回、外部の委員による大学内のチェックを受けることが義務付けられていることはご存知の通りです。このため、多くの先生方は昨年の夏休みを返上して資料作りや11項目にわたる教育、研究、財務などについて報告のまとめを行いました。昨年11月末には、5名の外部の委員が来学され、提出した報告に対して色々の質問をされ、チェックをされました。いつもは口頭試験を行う側から、答える側に回りましたが、先生方にはしっかりと対応して貰いました。今年に入って、中間報告で「良い」という案を頂戴しました。今後、さらに頑張ることで「OK」と評価されると思います。正式の評価は3月末になります。全ての大学が、このようにきっちりと評価される時代になっています。

学生がいて、教職員がいて、皆で教育、研究を進め、地域で育てて貰い、地域へしっかりお返しをするという本学の在り方が正しく認められたと思います。改めて自信を持ちました。

魁会の皆さん、お元気で活躍のことと思います。今春の卒業生は128名です。これで同窓生数は計659名となりました。この調子だと1,000名を達成するのも、もう少しだとうれしくなります。

不況の日本経済も、少しは好転の気配が見えるようになったとする報告と、まだもう少し底が続くとする悲観的な観測があります。そのような状況に対する国の対応の一つですが、昨年7月、平成21年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)が本学へ交付されることになりました。宇部フロンティア大学より申請したのは「小規模大学の特性を活かした就職支援プログラムの構築と実践」という主旨のものです。補助金交付は3年計画で、すでにその作業を進めています。

山口大学をはじめ、近くの大学から非常勤講師として本学へ講義に来られる先生方から、宇部フロンティア大

第2回魁会総会を終えて

魁会会長 河村 修司



昨年の8月16日、第2回魁祭総会をホテル河長にて行いました。来賓には山田学長をはじめ藤香会の方々にもご出席いただきました。次回は2012年に第3回魁祭総会を行う予定としております。母校であるフロンティア大学が創立10周年を迎える年であり、盛大にとりおこないたいと役員一同考えておりますので、ご参加の程よろしくお願ひします。



松田 愛珠 (平成20年度卒業生)

大学を卒業して9ヶ月が過ぎました。幸いにも社会福祉士に合格することができ、私は支援相談員として働いています。最近、徐々に相談援助や施設の説明・入所規約の説明といった口頭で対応するサービスの業務が増えました。その業務以外では介護者が一人ひとりに時間を費やせない分、私が一人ひとりに声をかけて心の声を聞かせていただいています。対人援助はこれからも日々勉強の毎日です。大学で学んだ4年間を無駄にしないよう、これからも活かしていきたいと思います。「あなたの笑顔が私の元気」この言葉を胸に日々精進していきたいと思います。



金沢 真里 (平成20年度卒業生)

就職し、あっという間に9ヶ月が経ちました。私の仕事は、病院内の重症心身障害児・者の療育をすることです。日々仕事の大変さ、重要さを考えながらも、ようやく楽しさや充実感を感じる余裕が持てるようになりました。病院はとても大きな組織で、様々な職種の方がいます。私は、保育士として医師や看護師、リハビリや学校教員、そして保護者の方々と連携を取りながら、患者一人ひとりの心身の状態を把握し、コミュニケーションを図っています。仕事に追われる中で、普段反応の少ない患者さんから笑顔が見られるのが何よりも私の喜びです。今後も、生命の尊さを感じながら、仕事に誇りを持ち、働いていきたいと思っています。



佐村 友理子 (平成20年度修了生)

私は、平成21年3月、宇部フロンティア大学大学院を修了し、現在は医療法人和同会常盤台病院にて心理士として常勤勤務をしています。常盤台病院は一般病院であり、心理士採用が初めて、という所でした。最初は、特に業務内容も決まっておらず、手探りしながら、自分で考えて患者様や職員とのかかわりを持っていきました。心理士の仕事を理解してもらうのはとても難しく、今でも私の課題となっています。1年余りを費やし、徐々に業務内容も確立していき、病棟内や外来でいらっしゃる患者様に心理面接、心理検査、集団療法、職員へのメンタルヘル

スなど、業務として取り入れていきました。入院されている方は主に高齢者ですが、様々なご年齢の方とかわっています。

職場は、医師、看護師、PT、OT、ST、MSWと、全て有資格者という中、修了当初、資格がなかった私は、プレッシャーを常に感じていました。臨床心理士資格は終了したその年の10月に試験があり、絶対に取得しなければならないという気持ちがとても強かったです。毎日の仕事をこなしながらの受験に合格できたのは大学院試験や大学院での勉強という基礎があったからだと思います。

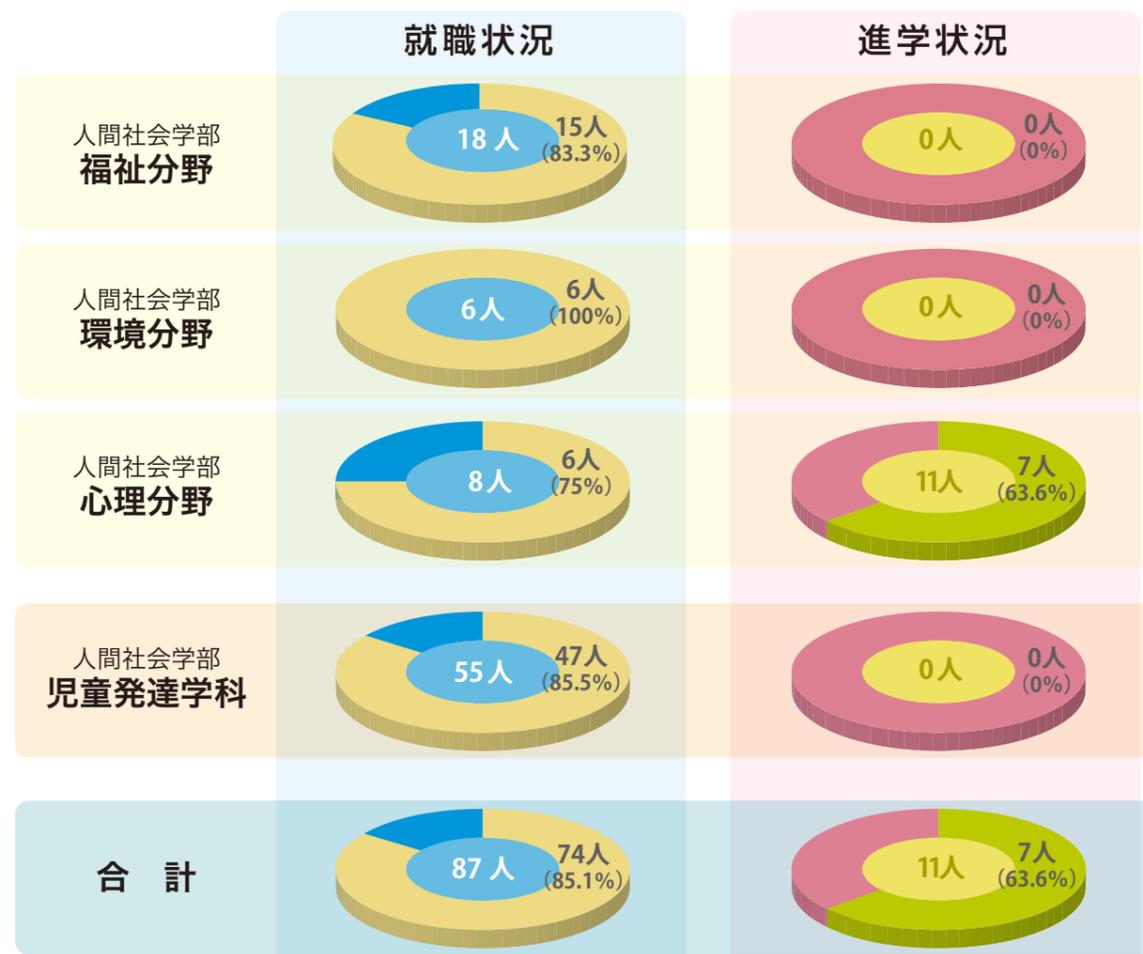
今後も日々研鑽に励み、勉強会にも積極的に参加し、謙虚に仕事に取り組んでいきたいと思っています。

平成21年度の就職状況について

人間社会学部の就職・進学の内定進捗状況の特徴

世界的不況の影響を受けて「第二就職氷河期」といわれるほど、今年度の就職状況は昨年以上に厳しい状態になっている。平成22年3月10日現在の就職・進学の内定状況は下記の資料のとおりである(下記のグラフ参照)。一般職を希望する学生が多い環境経営分野は、危機感を持って早くから就職活動を始めた学生は就職内定を確実に決めている。しかし、本学の学生は山口県内での就職希望者が7~8割を占めているため、不況の中、企業選択の範囲も就職のチャンスも急速に狭くなってきているのが現状である。心理分野は毎年進学率の高い分野であるが、今年度は例年以上の高い動きを見せ、一般職希望の学生が進学の方へ流れている。

福祉施設や保育園・幼稚園を希望する福祉分野や児童発達学科の学生の就職状況は、昨年程の勢いが見られない。医療や福祉分野は不況に強いと言われるが、専門職も厳しい競争の時代に入っており、ただ資格を有しているだけでは、内定はもらえない。強い目的意識を持って自発的に就職活動に取り組む姿勢が重要である。そのためには、早い段階からのキャリア教育が要請される。



凡例

就職希望者数

就職決定者数(就職決定率)

進学希望者数

進学合格者数(進学合格率)

(平成22年3月10日現在)

